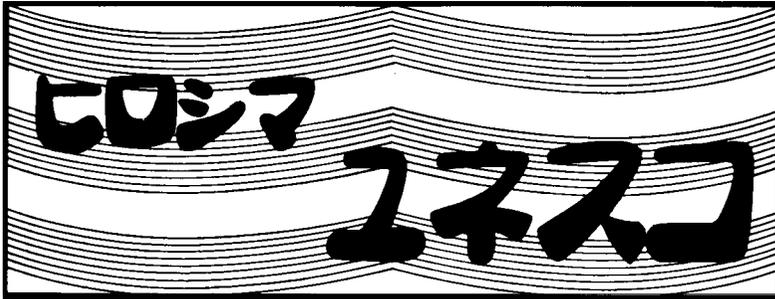


平和への発信

戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない

(ユネスコ憲章前文より)



いま改めてユネスコの役割を問う

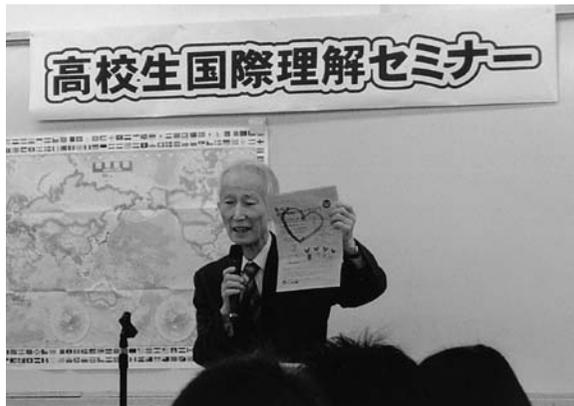
「地球の未来を救うユネスコとESD」

広島大学名誉教授(広ユ協副会長) 中山修一氏

視論

日本ユネスコ国内委員会は、去る3月末、「多様化の時代におけるユネスコ活動の活性化についての提言」(持続可能な社会の構築を「目指して」)を発表した。その柱は、日本が提案し、ユネスコが主導するESDの推進こそが、混迷を深めるグローバル化時代における地球的課題の解決に期待されるので、若者や企業を積極的に巻き込み、地域ユネスコ協会の協力を得ながら、ESDの推進へ取り組もうと訴えた。ユネスコの起源は、第二次世界大戦が日本の無条件降伏で終わった直後の1945年11月に、連合国文部大臣会合で合意された「ユネスコ憲章」にあるとされ

ている。しかし、その前史を振り返ると、第1回の連合国文部大臣会合は、日本の参戦1年後の1942年11月にロンドンで開催されていた。その共同声明で、ナチス・ドイツとその同盟国(日本は日独伊三国同盟を1940年に締結)との戦争後に、平和な世界を築くための教育の抜本的な改善の必要性を宣言した。その中心は、世界のいかなる国民も互いの国への関心と理解を深めることこそが戦争を回避する道であるとの考えで貫かれていた。連合国文部



昨年12月の国際理解セミナーで訴える 中山氏

大臣会合は、第二次世界大戦の始まりの段階で、大戦後を見据えて、正義、法の支配、人権、自由の尊重を深める教育の在り方を議論し始めていた。多くの日本人は、戦後いち早くユネスコ憲章に共鳴

し、平和の精神を体得しようと、民間ユネスコ活動の全国展開に参加した。戦争の惨禍を味わい尽くした参加者は、ユネスコ憲章を世界平和を実現するための聖典と読み取り、ユネスコ精神の普及に向けて力強く歩み出した。人類は、古代から地球のいたるところで、文明の衝突を幾度も繰り返してきた。最近の大衝突が、第二次世界大戦であった。だからユネスコの誕生は、次の文明の衝突を避けるための装置と言える。ところが、戦後70年、経済格差は地球規模で拡大し、ユネスコ設立の原点でもある「自由、民主主義、人権、法の支配を尊重する文明」と「必ずしも尊重しない文明」との衝突が頻発し始めた。この状況を打破しようと、日本が2002年に国際社会に提案したのが、ESD・平和で持続可能な社会の構築の必要性であった。今、地球のあちこちで立ち昇る暗雲を取り払うため、ユネスコとESDの積極的な活動が待たれている。

2014年度

広島ユネスコ協会総会

重点方針

- ① 組織の活性化に努める
- ② 財政の確立に努める
- ③ ESD・ユネスコスクールの推進に努める

広島ユネスコ協会の2014年度総会が、5月24日に広島国際会議場で開かれ、14年度重点方針として①組織の活性化に努める②

広ユ協 北川建次 会長

広島ユネスコも、40周年を終え、感新たなものがあ
ります。40周年といえ、
一つの世代を終え、10年も
追加があります。

このように広島ユネスコ



甚の謝意を表さねばなりませ
ん。
ひるがえって、現代の日
本、世界の様相は実に多く
の問題を抱えています。
特にユネスコ成立の当初

広島は「ユネスコ精神」の原点

を築いて行かねばなりません。
広島こそが、その原点で
あると信じます。会員諸氏
の一層の奮起と発展を希望
して止みません。

各専門部会の主な活動を
抜粋すると、次のとおりで
す。

- ◆ 【組織部会】
会員の拡大、会員の維持
- ◆ 【青少年育成部会】
青少年対象語学等講座
(青少年センターと共催)、高
校生国際理解セミナーの実
施、ハンダグループの支
援、小・中学生を対象とし

のような様相です。広島は、
ユネスコ精神の原点にあり
ます。

被爆70周年を抛り所に、
平和の構築、ノーモアヒロ
シマズ、世界に争いや紛争
のない、核兵器のない世界

た事業の検討
【教育部会】

第17回広島ユネスコ活動
奨励賞事業、高校生国際理
解セミナー、高校生コーア
クション(世界寺子屋運動募
金活動)、書き損じはがき回
収活動の実施

け入れ、国際交流・協力の
日参加
【平和・世界遺産部会】

平和関連事業(平和の鐘の
集い、杉並ユネスコ協会青年部
平和学習受け入れ)、世界遺産
関連事業(原爆ドーム保護・
保存活動推進)、原爆ドーム
遺産登録20周
年記念事業準
備、終戦・被
爆70周年記念
事業企画の準
備



5月24日に開かれた 広ユ協総会

【広報部会】

機関紙「ヒ
ロシマユネス
コ」の発行、
機関紙の発送
先拡充、ホー
ムページの充
実

【文化部会】

ユネスコサロン4回、新
春フェスタ(表彰・トーク&
コンサート)の実施

【事務局】

組織の活性化及び役員
の世代交代、年間行事の調
整・専門部会との連絡調整、
事務処理の円滑化を図る、
全体的に事業の見直し

【国際部会】

大邱の広場参加、ユネス
コ大邱協会友好訪問団の受

(事務局長 藤井孝行)

「おとなの寺子屋」運動

広ユ協に 入会したいきさつ

退職をして考えた。やり残したことはないか。退職したからこそ出来ることはないか。幸いにも健康と時間がたっぷりある。特別のことがない限り、私の寿命はあと約40年あると、ふんでいる。この第2の人生をより有効に使うことが社会への恩返しである。今まで培ってきたことを生かし、人のためそして自分を磨くために出来ること、いろいろと考えた揚げ句、選んだのがこの広島ユネスコ協会



の入会であった。

入会してみると、そこは心地よい空気が流れている。選んだ自分に満足した。広ユ協の行事に参加するうちに、すばらしい友人も出

いう。現小学校の数が2万4000校だから人口が4分の1の当時にしては凄いな数である。元々、日本人の心には学習意欲旺盛であり、伝えないでいくことの重要性を知っているのだ。それぞれが持っている趣味特技を整理し、伝えて

羨、おもしろいやりなど、風化させたくないものを学び、つなぐ

春 夏 秋 冬

明日(あした)へ

想いを込めて

- 6 -

広ユ協教育部会理事 世木田寛子さん

来た。そうこうしていると欲が出てきた。行事に参加するだけではなく、何か自らも企画し、活動してみたという気持ちが高揚してきたのだ。そして、この「おとなの寺子屋」を思いついたのである。

江戸時代の寺子屋は日本に1万6000軒あったと

いけば、きつと満たされたものが出来ると確信し、とりくみを始めた。

今のこどもは、こんなことがよくある。伝えられていないのである。羨、おもしろいやり、常識、文化、平和

その親たちに教えきれない

私の活動

かった自分たちがそこにいる。このままだとここで完全に風化してしまうのではないかとも思える。風化を止めるべく動くことにした。広ユ協の会員の方などにその旨を理解してもらい、それぞれの得意とする分野での講座を受け持ってもらうことにした。それを受講した人は身近な人に伝え、つないでいくことになる。多くの口が開き、より効率的になって広がっていくと考えた。

協会員として

△「おとなの寺子屋」の内容と実践、経過▽
趣旨・持続可能な社会、つくりのため世代のこどもたちに伝えたいことを考える
規模・月1回2時間
対象・どなたでも
講師・ユネスコ会員、地域住民、その他

内容・第1年次(平成24年) 昔話を見直す、書の心、おもてなし、日本の伝統料理、活字に親しむ、若者の本音に耳を傾ける、など

第2年次(平成25年) 若者

の就労観、伝説、昔話の警鐘、行事の料理、日本の教育の変遷、不登校の克服、子育て・親育て、など

第3年次(平成26年) 暦と宇宙、世界遺産を訪ねて、現代美術に触れる、地域の自然探訪、香道、地域の料理、伝統芸能、など

★おわりに★

初めは公民館だよりに掲載されても、参加者が少なかった。しかし、3年目の今年度は定員を大きく上回るところまでになった。口から口へと伝わっていったことや、公民館の熱心な協力、いや、今では主体となつて企画を下さつていくことなどがその要因と考えられる。参加者の数が増え、趣旨が広まってくることので当初の目的が達成に向かっていくことは大変喜ばしい。ユネスコ憲章の精神を踏まえ、持続可能な社会づくりに向けての小さな小さな行動である。

これからも、継続と拡大を目指していきたい。協力して下さった会員の皆様から感謝してやまない。……これからもよろしく……。

国際平和文化都市・広島

期待高まる英会話、ガイドのもてなし 実践事業（市青少年センターと共催）

国際人育成へ、継続は力なり

平和公園を 英語でガイド

諸外国の方々を温かく迎えられるため、青年が日常の英会話を身につけようと、「平和公園を英語でガイド」を青少年センターで、去る七月十二日（土）、十九日（土）、二十日（日）の三回実施しました。青少年センターと共催した主要事業です。初めに、平和公園を案内するための学習をし、そして、実際に現地に出て、話し方などを体験します。

平成十三年度から始まったこの事業は大変好評で、当初からひろしま通訳・ガイド協会梶田祐子先生を講師に迎え、楽しく学習しています。

高校生☆英語で まち歩き

高校生年代を対象に、広島を訪れる外国人に広島の観光スポットを案内できるよう、英語でガイドを目指しています。夏休み期間中に実施し、人気があります。

青少年・女性のペース

英字新聞や雑誌の読み方を学び、ニュースやトピックスでどのように取り上げられているか、グループによるプレゼンテーション、意見交換を行い、また、最後には留学生を交えて交流

青年の自主活動 を目指して

青少年育成部会長
國田 繁

青年のユネスコ活動への参加を積極的に促進するため、当初、組織部に青年担当を設けて検討を重ねました。

他県の取り組みなどを参考に、平和文化都市広島として、青年に対し何をしたらよいのか話し合った結果、広島を訪れる外国人をおもてなししようと、英会話講座「ひろしまを英語でガイド」（全5回）をスタートしました。最終日には、茶話会をして相互の交流を深めました。そして、その

国内外の社会情勢や身近な話題などを、英字新聞や雑誌で読み解くことにより、幅広い知識を身につけて、国際平和・理解に役立ててもらおうための講座です。

時事英語講座

▼場所：青少年センター
（*最終日は午後から現地学習をします）

青少年センターの、青少年の育成支援に向けた事業の一つとなっています。これまでに参加者からは、広島のことやもっと知りたいという声が多く上がっています。今年度は、次の通りです。
▼日時：七月二十五日（金）十三時三十分～、八月一日（金）午前十時～午後三時
▼場所：青少年センター

会を行います。
今年度は、次の通り計画しています
▼日時：一月～二月（日）（全四回）午後一時半～
▼場所：青少年センター

翌年度には、ハンゲル講座「はじめてのハンゲル」がスタートし、その後、「高校生英会話」「時事英語」の講座を立ち上げ、今では、ハンゲルを除く、3つの講座を継続実施しています。これも、青少年センターの協力のお陰と感謝しています。青年の英会話とハンゲルはそれぞれグループとして発足しましたが、今ではハンゲルのみが活動を続けています。
「継続は力なり」と言うように、これまで学んだことが、いつか役立つものと期待しています。
これから少しずつでも、ユネスコの活動を知ってもらい、青年交流の輪が広がっていければと思います。

鎮魂と平和を誓う「平和の鐘」

全国各地のユネスコが鎮魂と反戦の願いを込めて鐘を一齐に（8月15日を軸に）鳴らす「平和の鐘」は、今年15年目を迎えます。

戦争準備を思わせる動きが急な昨今、戦後69年目の終戦・敗戦記念日に改めて

今年も8・15に

「平和のとおりで」の構築を誓う場にご参加ください。
◇日時 8月15日（金）
11：30～12：30
◇場所 平和記念公園
△平和の鐘／鐘楼前

◇集い▽メッセ・ジジィ・広島大付属高ユネスコ班／ノートルダム清心高校／ワールドフレンドシップセンターのトビアス館長夫妻 ひろしま国際交流事業研修生（ベトナム）、在広留学生（韓国・中国）も参加予定
▽黙祷・鐘を撞く
（副会長 亀井 章）

畑賀小にユネスコ認定プレート

安芸区の畑賀小学校が平和、環境活動など国連教育科学文化機関（ユネスコ）の理念を実践する「ユネスコスクール」に認定され、6

ユネスコサロン

宇吹さん、藤井さんが講演

第159回ユネスコサロンは、5月24日（土）、「戦後広島を支えた先人達」と題して、宇吹暁・元広島女学院大学教授が、また第160回サロンは7月12日（土）、「韓国の今を知る〜国民生活と韓国から学ぶこと〜」のテーマで、元啓明大学校招聘教授、藤井正一さん（広島ユネスコ協会理事）が講演されました。会場は、いずれも広島市中区の国際会議場研修室。

月17日、同小学校で認定プレートの贈呈式がありました。当協会の北川建次会長から、同小学校大庭浩資校長へ、プレートが渡されました。認定校は市内小学校で4校目となりました。
（事務局長 藤井孝行）

市の姉妹都市提携（1997年5月2日）を記念した友好イベントが、今年も5月3日～5日、「ひろしまフラワーフェスティバル」の会場で。特に韓国・大邱マダン（広場）は韓国衣装の着付けや韓国料理の販売などで賑わいました。

杉並ユ協が平和学習

3月27日～30日、杉並ユ協会の大学生、高校生を中心とした青年部の皆さんが、第16回広島スタディーツアー（広島、宮島、江田島の平和学習）で来られました。原爆資料館見学、被爆体験証言を聞き、広島市内の高校生との交流会などが行われ、広ユ協も応援しました。

1年間の活動を振り返って

広島ESD・ユネスコスクール研究会代表 和田文雄

各ユネスコスクールにはESDの実践と研究が求められています。

発足にあたり、研究会設立の趣旨および研究会の活動・実践に関する広報にまとめました。現在（6月14日）、会員数は73名です。本研究会の中心的な活動は年4回の定例研究会の開催です。この研究会ではE

整備しています。そしてESDおよびユネスコスクールに関する情報を、内外のWebサイトを中心に収集・分析し、それを随時ホームページに掲載し、発信しています。県内のユネスコスクール

本研究会へのユネスコスクール関係者の参加を増やし、ユネスコスクールをいかに具体的に支援するかが本研究会の喫緊の課題となつています。本研究会への皆様のご指導とご支援をお願いします。

大邱マダン

広島市と韓国・大邱広域

会費を値下げし、新会員増もしやすく

会費引下げの問題は足掛け3年にわたって理事会等で慎重に検討されてきましたが、5月の総会で会則の一部が改正され、個人会員の年会費が5000円から3000円に、35歳以下の

会員は3000円から2000円にそれぞれ引き下げられました。

この趣旨は、年会費5000円というハードルを下げることに、広島協会の維持発展と将来を担う新規会員を増やし、体制を強化していくことにあります。会員の増強は、会費引下げに伴う財政の穴を埋めるた

めにも必要です。

年会費を3000円に抑え、入会しやすくなったこの機会に、会員一人ひとりの声掛け、働きかけにより1人でも多くユネスコ活動に賛同し新規会員になっていただくよう皆さまのお力添えをお願いします。
(組織部会長 松岡盛人)

日誌

（14年4月）

8日／安古市高等学校ユネスコスクールプレート贈呈式
(安古市高等学校)

26日／理事会総会議案協議
(国際会議場)

（5月）

3～5日／大邱の日・姉妹都市交流ほか
(平和大通り)

17日／臨時理事会 総会議案協議
(国際会議場)

21日／会計監査
(広島WMC A黒瀬監事)

23日／会計監査 (竹沢毛)

24日／第159回ユネスコサロン
「戦後広島を支えた先人達」元広島女学院大学教授 宇吹 暁さん (国際会議場)

24日／2014年度通常総会
(国際会議場)

28日／機関紙「ヒロシマユネスコ」第87号編集会議
(広報部会 市民交流プラザ)

（6月）

3日／2014年度広島ユネスコ活動奨励賞打ち合わせ会議

（教育部会 市民交流プラザ）

12日／年間行事など調整会議
(会長・副会長・部会長・事務局 国際会議場)

12日／広島県ユネスコ連絡協議会2014年度総会
(三篠公民館)

24日／平和の鐘打ち合わせ会
(平和・世界遺産部会 国際会議場)

（7月）

12日／第160回ユネスコサロン
「韓国の今を知る」

元啓明中学校招聘教授 藤井正一さん (国際会議場)

協会会員

湯浅克廣氏



私は、3年前の広島市立牛田中学校在職時に「第14回広島ユネスコ活動奨励賞」を協会からいただくことができました。大変名誉ある賞であり、生徒・教職員と大いに喜んだものでした。

受賞となった主な活動は、「ルソン島を緑の山に！」「もったいない！」を合言葉に、

生徒会が「ルソン島支援の日」を毎月設定して家庭・学校で使用しなくなった靴や学用品・体操服などを収集し、ルソン島に送るというものです。

現地で苗木と労働賃に換え、植林活動資金の一部に充てていただきました。今では、山々の一角には「牛田中の森」と名付けられた地域があり、「森」らしく成長しているのとこと。

こうした取組への充実感や受賞の喜びから、「ユネスコ」活動の趣旨に沿った活動が、今後ますます拡大していくことを願ってお世話をさせていただきます。

の顔と心

協会会員

岡本洋子さん



昨年秋、仕事の先輩であった松岡様からお誘いを受け、入会しました。それまでもご案内をいただき、講演会などに参加しておりま

したが、そろそろ定年退職後の第二の人生を真剣に考える時期に差し掛かっていったときです。今までは勤務先を通じて社会と繋がって

ましたが、これからの長い人生における社会との関わりを如何にするかと考えたとき、「ユネスコ協会のお手伝いをさせていただくことは、社会に貢献し充実した人生に繋がるのではないか」との考えに至ったからです。

活動内容もまだよく分かっておりませんが、微力の私にできることあるのかどうか不明ですが、私のモットーである「一所懸命」で、お役に立てるよう精一杯取り組んでまいります。どうぞ、よろしくお願いいたします。

日本郵便株式会社
広島中郵便局長